

第 1 回改定 (1/14)

項目	改定前【平成26年10月】	改定後【平成27年7月】																																																
(参考資料) P.37	平成 年 月 日 総括監督員 ○ ○ ○ ○ 様 受注者住所 ○ ○ 市 ○ ○ 氏 名 ○ ○ ○ ○ 現場代理人 ○ ○ ○ ○ 印 1. 工事番号 2. 工 事 名 3. 路線・河川名等 4. 工事場所 5. 請負金額 平成 年 月 日請負契約を締結しました上記工事について、施工計画書を提出します。 提出した事項に○印を記入する。 施工計画書 <table><tr><td>(1) 工事概要</td><td>(9) 安全管理</td><td></td></tr><tr><td>(2) 計画工程表</td><td>(10) 緊急時の体制及び対応</td><td></td></tr><tr><td>(3) 現場組織表</td><td>(11) 交通管理</td><td></td></tr><tr><td>(4) 指定機械</td><td>(12) 環境対策</td><td></td></tr><tr><td>(5) 主要船舶・機械</td><td>(13) 現場作業環境の整備</td><td></td></tr><tr><td>(6) 主要資材</td><td>(14) 再生資源利用計画、建設副産物の適正処理方法</td><td></td></tr><tr><td>(7) 施工方法</td><td>(15) その他</td><td></td></tr><tr><td>(8) 施工管理計画</td><td></td><td></td></tr></table> 注) (提示した事項に○印) Point ・施工計画書は、受注者が遵守する施工方法等を記載したものであり、記載した事項は、履行しなければならない。 ・施工計画書の作成にあたっては、現場代理人（又は主任技術者）が責任をもって記載する。 ・監督員は、施工の安全性や法令、<u>規定を遵守し適切な施工が履行できるものであるか否かを</u>確認し、疑義がある場合にのみ必要に応じて指導、助言を行う。 ・変更施工計画書は、追加式として、先の施工計画書を削除することはしないことを基本とする。 ・(6) 主要資材は、使用材料一覧表に 一括掲載し、施工計画書には掲載しないことを基本とする。	(1) 工事概要	(9) 安全管理		(2) 計画工程表	(10) 緊急時の体制及び対応		(3) 現場組織表	(11) 交通管理		(4) 指定機械	(12) 環境対策		(5) 主要船舶・機械	(13) 現場作業環境の整備		(6) 主要資材	(14) 再生資源利用計画、建設副産物の適正処理方法		(7) 施工方法	(15) その他		(8) 施工管理計画			平成 年 月 日 総括監督員 ○ ○ ○ ○ 様 受注者住所 ○ ○ 市 ○ ○ 氏 名 ○ ○ ○ ○ 現場代理人 ○ ○ ○ ○ 印 1. 工事番号 2. 工 事 名 3. 路線・河川名等 4. 工事場所 5. 請負金額 平成 年 月 日請負契約を締結しました上記工事について、施工計画書を提出します。 提出した事項に○印を記入する。 施工計画書 <table><tr><td>(1) 工事概要</td><td>(9) 緊急時の体制及び対応</td><td></td></tr><tr><td>(2) 計画工程表</td><td>(10) 交通管理</td><td></td></tr><tr><td>(3) 現場組織表</td><td>(11) 環境対策</td><td></td></tr><tr><td>(4) 指定機械</td><td>(12) 現場作業環境の整備</td><td></td></tr><tr><td>(5) 主要船舶・機械</td><td>(13) 再生資源利用計画、建設副産物の適正処理方法</td><td></td></tr><tr><td>(6) 施工方法</td><td>(14) その他</td><td></td></tr><tr><td>(7) 施工管理計画</td><td></td><td></td></tr><tr><td>(8) 安全管理</td><td></td><td></td></tr></table> 注) (提示した事項に○印) Point ・施工計画書は、受注者が遵守する施工方法等を記載したものであり、記載した事項は、履行しなければならない。 ・施工計画書の作成にあたっては、現場代理人（又は主任技術者）が責任をもって記載する。 ・監督員は、施工の安全性や法令、<u>規定を遵守し適切な施工が履行できるものであるか否かを</u>確認し、疑義がある場合にのみ必要に応じて指導、助言を行う。 ・変更施工計画書は、追加式として、先の施工計画書を削除することはしないことを基本とする。	(1) 工事概要	(9) 緊急時の体制及び対応		(2) 計画工程表	(10) 交通管理		(3) 現場組織表	(11) 環境対策		(4) 指定機械	(12) 現場作業環境の整備		(5) 主要船舶・機械	(13) 再生資源利用計画、建設副産物の適正処理方法		(6) 施工方法	(14) その他		(7) 施工管理計画			(8) 安全管理		
(1) 工事概要	(9) 安全管理																																																	
(2) 計画工程表	(10) 緊急時の体制及び対応																																																	
(3) 現場組織表	(11) 交通管理																																																	
(4) 指定機械	(12) 環境対策																																																	
(5) 主要船舶・機械	(13) 現場作業環境の整備																																																	
(6) 主要資材	(14) 再生資源利用計画、建設副産物の適正処理方法																																																	
(7) 施工方法	(15) その他																																																	
(8) 施工管理計画																																																		
(1) 工事概要	(9) 緊急時の体制及び対応																																																	
(2) 計画工程表	(10) 交通管理																																																	
(3) 現場組織表	(11) 環境対策																																																	
(4) 指定機械	(12) 現場作業環境の整備																																																	
(5) 主要船舶・機械	(13) 再生資源利用計画、建設副産物の適正処理方法																																																	
(6) 施工方法	(14) その他																																																	
(7) 施工管理計画																																																		
(8) 安全管理																																																		

第 2 回改定 (2/14)

項目	改定前【平成26年10月】	改定後【平成27年7月】
(参考資料) P.38	目 次 1. 工事概要・・・・・・・・・・・・・・□ 2. 計画工程表・・・・・・・・・・・・・・□ 3. 現場組織表・・・・・・・・・・・・・・□ 4. 指定機械・・・・・・・・・・・・・・□ 5. 主要船舶・機械・・・・・・・・・・・・・・□ 6. 主要資材・・・・・・・・・・・・・・□ 7. 施工方法・・・・・・・・・・・・・・□ 8. 施工管理計画・・・・・・・・・・・・・・□ 9. 安全管理・・・・・・・・・・・・・・□ 10. 緊急時の体制及び対応・・・・・・・・・・・・・・□ 11. 交通管理・・・・・・・・・・・・・・□ 12. 環境対策・・・・・・・・・・・・・・□ 13. 現場作業環境の整備・・・・・・・・・・・・・・□ 14. 再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法・・・□ 15. その他・・・・・・・・・・・・・・□	目 次 1. 工事概要・・・・・・・・・・・・・・□ 2. 計画工程表・・・・・・・・・・・・・・□ 3. 現場組織表・・・・・・・・・・・・・・□ 4. 指定機械・・・・・・・・・・・・・・□ 5. 主要船舶・機械・・・・・・・・・・・・・・□ <u>6.</u> 施工方法・・・・・・・・・・・・・・□ <u>7.</u> 施工管理計画・・・・・・・・・・・・・・□ <u>8.</u> 安全管理・・・・・・・・・・・・・・□ <u>9.</u> 緊急時の体制及び対応・・・・・・・・・・・・・・□ <u>10.</u> 交通管理・・・・・・・・・・・・・・□ <u>11.</u> 環境対策・・・・・・・・・・・・・・□ <u>12.</u> 現場作業環境の整備・・・・・・・・・・・・・・□ <u>13.</u> 再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法・・・□ <u>14.</u> その他・・・・・・・・・・・・・・□

項目	改定前【平成26年10月】	改定後【平成27年7月】
(参考資料) P.39	1. 工事概要 【記載すべき内容】 ・以下に示す項目について、契約図書に基づき記載する。 ① 事業名（工事名） ②路線及び河川名等 ③工事場所 ④工期 ⑤ 請負金額 ⑥工事内訳 Point ・位置図、平面図、標準横断図の添付は求めない。 ・工事内訳の記載内容は、主たる工種を記載し、契約設計図書の工事内訳書の記載は求めない。 【記載例】 事業名（工事名）道路改良事業（道路改良工事） 路線及び河川名等主要地方道 ○○○○線 工 事 場 所○○市○○町○○ 工 期自 平成○年○月○日 至 平成○年○月○日 請 負 金 額¥ ○○, ○○○, ○○○ 工 事 内 訳延長 L=○○○m W=○○m (道路改良の例) 道路土工 掘削工 ○○m³ 路体盛土工 ○○m³ 擁壁工 場所打擁壁工 ○○m 排水構造物工 側溝工 ○○m 舗装工 表層 ○○m² 道路附属施設工 照明工 ○基	1. 工事概要 【記載すべき内容】 ・以下に示す項目について、契約図書に基づき記載する。 ① 事業名（工事名） ②路線及び河川名等 ③工事場所 ④工期 ⑤ 請負金額 ⑥工事内訳 Point ・位置図、平面図、標準横断図の添付は不要。 ・工事内訳の記載内容は、主たる工種を記載し、契約設計図書の工事内訳書の記載は不要。 【記載例】 事業名（工事名）道路改良事業（道路改良工事） 路線及び河川名等主要地方道 ○○○○線 工 事 場 所○○市○○町○○ 工 期自 平成○年○月○日 至 平成○年○月○日 請 負 金 額¥ ○○, ○○○, ○○○ 工 事 内 訳延長 L=○○○m W=○○m (道路改良の例) 道路土工 掘削工 ○○m³ 路体盛土工 ○○m³ 擁壁工 場所打擁壁工 ○○m 排水構造物工 側溝工 ○○m 舗装工 表層 ○○m² 道路附属施設工 照明工 ○基

項目	改定前【平成26年10月】	改定後【平成27年7月】																																																						
(参考資料) P.42	6. 主要資材 【記載すべき内容】 ・共通仕様書 第2編 2-1-1-2 表 2-1-1 主要資材リストに記載の材料について記載する。 ・該当箇所に“○”を記載 (1) 材料のJIS規格の有りの場合。(番号は不要) (2) 工場のJIS表示認定(認証)の有りの場合。認証(認証)番号も記載。 (3) 「使用材料確認願」を提出する予定の材料。 施工計画の主要資材一覧表 <table><tr><th>使用する材料の名称</th><th>材料の規格等</th><th>材料のJIS規格の有無(有りの場合○)</th><th>工場のJIS表示認定(認証)の有無(有りの場合○及び番号)</th><th>製造会社名又は工場名、所在地(又は土取場名)</th><th>確認願有無(有りの場合○)</th><th>承諾願有無(有りの場合○)</th><th>備考</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> Point ・施工計画提出と同時期に、使用材料一覧表において資材が把握できる場合は、主要資材一覧表は添付を省略出来ることとする。 7. 施工方法 【記載すべき内容】 ・全体フローにより、工事全体の流れを記載する。 ・受注者の実施する施工手順に基づき、その施工方法、施工時の配慮事項等を具体的に記載する。 ・施工方法には、施工手順、作業方法、品質規格、確認方法、検認の有無を記載する。 【添付を求める資料】 ・任意仮設については、詳細資料を添付する。 Point ・全体フローに示す工種は、契約図書の工事内訳書レベル2の範囲とし、それ以外の工種の追加は発注者として求めない。 <td> 6. 施工方法 【記載すべき内容】 ・全体フローにより、工事全体の流れを記載する。 ・受注者の実施する施工手順に基づき、その施工方法、施工時の配慮事項等を具体的に記載する。 ・施工方法には、施工手順、作業方法、品質規格、確認方法、検認の有無を記載する。 【添付を求める資料】 ・任意仮設については、詳細資料を添付する。 Point ・全体フローに示す工種は、契約図書の工事内訳書レベル2の範囲とする。 Point ・施工方法の記載は、全体フローに示した工種を基に、契約図書の工事内訳書レベル2又はレベル3までの範囲とし、それ以外の工種追加は発注者として求めない。 【記載例】 (1) 全体工事のフロー ① 準備工 ↓ ② 道路土工 ↓ ③ 擁壁工 ↓ ④ 防護柵工 ↓ ⑥ 舗装工 ↓ ⑦ 区画線工 ↓ ⑧ 跡片付け ⑤ 標識工 【参考】 契約図書に示す工事内訳書 <table><tr><th>(レベル1)</th><th>(レベル2)</th><th>(レベル3)</th></tr><tr><td>・道路改良</td><td>・擁壁工</td><td>・場所打擁壁工 ・井桁ブロック工 ・補強土壁工 ・プレキャスト擁壁工</td></tr></table> 全体フローに示すレベル 施工法に示すレベル (2) 施工方法 1) 準備工 2) 道路土工 3) 擁壁工 (No.8~No.10 L=50m) 所定の深さまで、機械掘削を行い、床付基面整正を人力で行います。 基礎碎石(RC40)を充填し、締固めて所定の厚み、幅に仕上げます。 型枠を組み立て生コンクリート(24-8-40BB 水セメント比 60%)を打設します。 打設方法は、シュート及びポンプ車を使用し、バイブレーター等で十分締め固めをします。 養生は、養生マットにて、共通仕様書 1-3-6-9 養生の表 1-3-6 にもとづきコンクリート面を()日間養生します。脱型は、コンクリート標準示方書 11章 型枠及び支保工 表 11.8.1をもとに外荷重に耐える()N/mm2の強度を、現場空中養生の供試体を圧縮強度試験で確認し、実施します。 【注】暑中コンクリート、寒中コンクリートの場合、その旨考慮した記述となる】 養生、脱型それぞれについて具体的に実施の考え方を記載する </td>	使用する材料の名称	材料の規格等	材料のJIS規格の有無(有りの場合○)	工場のJIS表示認定(認証)の有無(有りの場合○及び番号)	製造会社名又は工場名、所在地(又は土取場名)	確認願有無(有りの場合○)	承諾願有無(有りの場合○)	備考																																									6. 施工方法 【記載すべき内容】 ・全体フローにより、工事全体の流れを記載する。 ・受注者の実施する施工手順に基づき、その施工方法、施工時の配慮事項等を具体的に記載する。 ・施工方法には、施工手順、作業方法、品質規格、確認方法、検認の有無を記載する。 【添付を求める資料】 ・任意仮設については、詳細資料を添付する。 Point ・全体フローに示す工種は、契約図書の工事内訳書レベル2の範囲とする。 Point ・施工方法の記載は、全体フローに示した工種を基に、契約図書の工事内訳書レベル2又はレベル3までの範囲とし、それ以外の工種追加は発注者として求めない。 【記載例】 (1) 全体工事のフロー ① 準備工 ↓ ② 道路土工 ↓ ③ 擁壁工 ↓ ④ 防護柵工 ↓ ⑥ 舗装工 ↓ ⑦ 区画線工 ↓ ⑧ 跡片付け ⑤ 標識工 【参考】 契約図書に示す工事内訳書 <table><tr><th>(レベル1)</th><th>(レベル2)</th><th>(レベル3)</th></tr><tr><td>・道路改良</td><td>・擁壁工</td><td>・場所打擁壁工 ・井桁ブロック工 ・補強土壁工 ・プレキャスト擁壁工</td></tr></table> 全体フローに示すレベル 施工法に示すレベル (2) 施工方法 1) 準備工 2) 道路土工 3) 擁壁工 (No.8~No.10 L=50m) 所定の深さまで、機械掘削を行い、床付基面整正を人力で行います。 基礎碎石(RC40)を充填し、締固めて所定の厚み、幅に仕上げます。 型枠を組み立て生コンクリート(24-8-40BB 水セメント比 60%)を打設します。 打設方法は、シュート及びポンプ車を使用し、バイブレーター等で十分締め固めをします。 養生は、養生マットにて、共通仕様書 1-3-6-9 養生の表 1-3-6 にもとづきコンクリート面を()日間養生します。脱型は、コンクリート標準示方書 11章 型枠及び支保工 表 11.8.1をもとに外荷重に耐える()N/mm2の強度を、現場空中養生の供試体を圧縮強度試験で確認し、実施します。 【注】暑中コンクリート、寒中コンクリートの場合、その旨考慮した記述となる】 養生、脱型それぞれについて具体的に実施の考え方を記載する	(レベル1)	(レベル2)	(レベル3)	・道路改良	・擁壁工	・場所打擁壁工 ・井桁ブロック工 ・補強土壁工 ・プレキャスト擁壁工
使用する材料の名称	材料の規格等	材料のJIS規格の有無(有りの場合○)	工場のJIS表示認定(認証)の有無(有りの場合○及び番号)	製造会社名又は工場名、所在地(又は土取場名)	確認願有無(有りの場合○)	承諾願有無(有りの場合○)	備考																																																	
(レベル1)	(レベル2)	(レベル3)																																																						
・道路改良	・擁壁工	・場所打擁壁工 ・井桁ブロック工 ・補強土壁工 ・プレキャスト擁壁工																																																						

項目	改定前【平成26年10月】	改定後【平成27年7月】																																																																															
(参考資料) P.44	8. 施工管理計画 【記載すべき内容】 ・ 工程管理、出来高管理、品質管理、写真管理について、受注者の実施する施工管理について記載する。 ・ 管理項目、管理時期、管理頻度、記録方法、配慮事項を記載する。 (主な記載内容) 工程管理・・・管理方法、工程回復の方法 出来高管理・・・管理項目、管理内容、管理基準、記録方法 品質管理・・・管理項目、管理内容、施工量、管理基準、記録方法 写真管理・・・撮影計画、分類方法、撮影項目、撮影時期、頻度、記録方法 ・ 段階確認、立会確認の必要な項目、実施予定を記載する。 段階確認一覧表 <table><tr><th>種 別</th><th>細 別</th><th>施工段階（時期）</th><th>確認事項</th></tr><tr><td>指定仮設</td><td></td><td>設置完了後（〇月〇日頃）</td><td>使用材料、幅及び長さ</td></tr><tr><td>築堤・護岸工</td><td></td><td>法線設置完了時（〇月〇日頃）</td><td>法線及び断面形状</td></tr><tr><td>重要構造物</td><td>函渠</td><td>床掘掘削完了時（〇月〇日頃）</td><td>位置、土質、地盤支持力</td></tr><tr><td></td><td></td><td>埋戻前（〇月〇日頃）</td><td>不可視部の出来形</td></tr><tr><td>・・・</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 施工状況立会一覧表 <table><tr><th>種 別</th><th>細 別</th><th>施工段階（時期）</th></tr><tr><td>盛土工</td><td></td><td>敷均、転圧時（〇月〇日頃）</td></tr><tr><td>舗装工</td><td>路盤</td><td>舗設時（〇月〇日頃）</td></tr><tr><td>舗装工</td><td>表層</td><td>舗設時（〇月〇日頃）</td></tr><tr><td>舗装工</td><td>基層</td><td>舗設時（〇月〇日頃）</td></tr></table> 【添付を求める資料】 ・ コンクリート、アスファルトの運搬経路図（運搬経路、時間を記載） Point ・ 施工計画書に記載した施工管理は、発注者として工事完成図書として提出を求める。 ・ 発注者は、県の土木工事施工管理基準に適合した内容であることを確認する。 ・ 施工計画書に記載し管理する管理基準に、県基準より厳しい、社内管理目標値を用いても良い。	種 別	細 別	施工段階（時期）	確認事項	指定仮設		設置完了後（〇月〇日頃）	使用材料、幅及び長さ	築堤・護岸工		法線設置完了時（〇月〇日頃）	法線及び断面形状	重要構造物	函渠	床掘掘削完了時（〇月〇日頃）	位置、土質、地盤支持力			埋戻前（〇月〇日頃）	不可視部の出来形	・・・				種 別	細 別	施工段階（時期）	盛土工		敷均、転圧時（〇月〇日頃）	舗装工	路盤	舗設時（〇月〇日頃）	舗装工	表層	舗設時（〇月〇日頃）	舗装工	基層	舗設時（〇月〇日頃）	施工手順（必要日数） 床掘 3日 ↓ 基礎碎石 2日 ↓ 型枠 2日 ↓ コンクリート 2日 ↓ 養生 〇日 ↓ 脱型 作業方法・品質規格等 バックホウ〇. 7m3 人力床掘（〇.1m程度） 測点及び変位点の確認 再生切込碎石 丁張りから下がり タンバ 清掃・剥離剤添付 コンクリートの品質 ポンプ打設 シート養生 〇日間養生 高さ、幅 確認方法等 写真（作業中） 写真（作業中） 写真（完成） 材料試験・写真 写真（完成） 写真（作業中） 写真（作業中） 写真（作業中） 材料承諾願 写真（作業中） 写真（作業中） 写真（完成） 検査等 監督員立会 （〇月中旬予定） 試験結果	7. 施工管理計画 【記載すべき内容】 ・ 工程管理、出来高管理、品質管理、写真管理について、受注者の実施する施工管理について記載する。 ・ 管理項目、管理時期、管理頻度、記録方法、配慮事項を記載する。 (主な記載内容) 工程管理・・・管理方法、工程回復の方法 出来形管理・・・管理項目、管理内容、管理基準、記録方法 品質管理・・・管理項目、管理内容、施工量、管理基準、記録方法 写真管理・・・撮影計画、分類方法、撮影項目、撮影時期、頻度、記録方法 ・ 段階確認、立会確認の必要な項目、実施予定を記載する。 段階確認一覧表 <table><tr><th>種 別</th><th>細 別</th><th>施工段階（時期）</th><th>確認事項</th></tr><tr><td>指定仮設</td><td></td><td>設置完了後（〇月〇日頃）</td><td>使用材料、幅及び長さ</td></tr><tr><td>築堤・護岸工</td><td></td><td>法線設置完了時（〇月〇日頃）</td><td>法線及び断面形状</td></tr><tr><td>重要構造物</td><td>函渠</td><td>床掘掘削完了時（〇月〇日頃）</td><td>位置、土質、地盤支持力</td></tr><tr><td></td><td></td><td>埋戻前（〇月〇日頃）</td><td>不可視部の出来形</td></tr><tr><td>・・・</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 施工状況立会一覧表 <table><tr><th>種 別</th><th>細 別</th><th>施工段階（時期）</th></tr><tr><td>盛土工</td><td></td><td>敷均、転圧時（〇月〇日頃）</td></tr><tr><td>舗装工</td><td>路盤</td><td>舗設時（〇月〇日頃）</td></tr><tr><td>舗装工</td><td>表層</td><td>舗設時（〇月〇日頃）</td></tr><tr><td>舗装工</td><td>基層</td><td>舗設時（〇月〇日頃）</td></tr></table> 【添付を求める資料】 ・ コンクリート、アスファルトの運搬経路図（運搬経路、時間を記載）	種 別	細 別	施工段階（時期）	確認事項	指定仮設		設置完了後（〇月〇日頃）	使用材料、幅及び長さ	築堤・護岸工		法線設置完了時（〇月〇日頃）	法線及び断面形状	重要構造物	函渠	床掘掘削完了時（〇月〇日頃）	位置、土質、地盤支持力			埋戻前（〇月〇日頃）	不可視部の出来形	・・・				種 別	細 別	施工段階（時期）	盛土工		敷均、転圧時（〇月〇日頃）	舗装工	路盤	舗設時（〇月〇日頃）	舗装工	表層	舗設時（〇月〇日頃）	舗装工	基層	舗設時（〇月〇日頃）
種 別	細 別	施工段階（時期）	確認事項																																																																														
指定仮設		設置完了後（〇月〇日頃）	使用材料、幅及び長さ																																																																														
築堤・護岸工		法線設置完了時（〇月〇日頃）	法線及び断面形状																																																																														
重要構造物	函渠	床掘掘削完了時（〇月〇日頃）	位置、土質、地盤支持力																																																																														
		埋戻前（〇月〇日頃）	不可視部の出来形																																																																														
・・・																																																																																	
種 別	細 別	施工段階（時期）																																																																															
盛土工		敷均、転圧時（〇月〇日頃）																																																																															
舗装工	路盤	舗設時（〇月〇日頃）																																																																															
舗装工	表層	舗設時（〇月〇日頃）																																																																															
舗装工	基層	舗設時（〇月〇日頃）																																																																															
種 別	細 別	施工段階（時期）	確認事項																																																																														
指定仮設		設置完了後（〇月〇日頃）	使用材料、幅及び長さ																																																																														
築堤・護岸工		法線設置完了時（〇月〇日頃）	法線及び断面形状																																																																														
重要構造物	函渠	床掘掘削完了時（〇月〇日頃）	位置、土質、地盤支持力																																																																														
		埋戻前（〇月〇日頃）	不可視部の出来形																																																																														
・・・																																																																																	
種 別	細 別	施工段階（時期）																																																																															
盛土工		敷均、転圧時（〇月〇日頃）																																																																															
舗装工	路盤	舗設時（〇月〇日頃）																																																																															
舗装工	表層	舗設時（〇月〇日頃）																																																																															
舗装工	基層	舗設時（〇月〇日頃）																																																																															

7. 施工管理計画

【記載すべき内容】

・ 工程管理、出来形管理、品質管理、写真管理について、受注者の実施する施工管理について記載する。

・ 管理項目、管理時期、管理頻度、記録方法、配慮事項を記載する。

(主な記載内容)

工程管理・・・管理方法、工程回復の方法

出来形管理・・・管理項目、管理内容、管理基準、記録方法

品質管理・・・管理項目、管理内容、施工量、管理基準、記録方法

写真管理・・・撮影計画、分類方法、撮影項目、撮影時期、頻度、記録方法

・ 段階確認、立会確認の必要な項目、実施予定を記載する。

段階確認一覧表

施工状況立会一覧表

【添付を求める資料】

・ コンクリート、アスファルトの運搬経路図（運搬経路、時間を記載）

項目	改定前【平成26年10月】	改定後【平成27年7月】																																				
(参考資料) P.48	9. 安全管理 【記載すべき内容】 ・ 工事現場における作業員の労働条件、安全性の確保や労働災害防止に向けた取り組みを記載する。(安全衛生管理の組織体制、安全衛生管理に対する実施計画) ・ 労働基準監督署への届け出の有無と、許可後に工事打ち合わせ簿により報告 Point ・ 安全管理の取り組みは、発注者が実施する内容を記載し、記録様式の添付は発注者として求めない。 【記載例】 (1) 安全衛生管理組織 総括安全管理者 〇〇 〇〇 作業安全責任者 〇〇 〇〇 衛生責任者 〇〇 〇〇 交通安全責任者 〇〇 〇〇 火薬類取扱責任者 〇〇 〇〇 作業安全責任者 〇〇 〇〇 作業安全責任者 〇〇 〇〇 作業安全責任者 〇〇 〇〇 作業安全責任者 〇〇 〇〇 (2) 安全衛生に対する計画 1) 作業時の服装 2) 工事車両の安全確認 日常点検の方法 交通法規、マナー等の教育 等 3) 安全作業に向けての取り組み 健康管理に対する取り組み 新規入場者に対する教育 労働者の就業規則 KY 活動の実施 安全パトロールの実施 等 4) 保安施設の管理 保安施設の点検方法 等 <table><tr><th>活動項目</th><th>参加予定者</th><th>頻 度</th></tr><tr><td>作業前ミーティング</td><td>現場作業従業員</td><td>施工日毎</td></tr><tr><td>作業後ミティーング</td><td>現場作業従業員</td><td>施工日毎</td></tr><tr><td>本社安全パトロール</td><td>本社安全部</td><td>毎月1回 約1時間</td></tr><tr><td>安全訓練</td><td>現場作業従業員</td><td>毎月1回 約4時間</td></tr><tr><td>新規入場者の教員</td><td>新規入場者</td><td>入場時随時</td></tr></table>	活動項目	参加予定者	頻 度	作業前ミーティング	現場作業従業員	施工日毎	作業後ミティーング	現場作業従業員	施工日毎	本社安全パトロール	本社安全部	毎月1回 約1時間	安全訓練	現場作業従業員	毎月1回 約4時間	新規入場者の教員	新規入場者	入場時随時	8. 安全管理 【記載すべき内容】 ・ 工事現場における作業員の労働条件、安全性の確保や労働災害防止に向けた取り組みを記載する。(安全衛生管理の組織体制、安全衛生管理に対する実施計画) ・ 労働基準監督署への届け出の有無と、許可後に工事打ち合わせ簿により報告 Point ・ 安全管理の取り組みは、<u>受注者が実施する内容を記載する</u>(記録様式の添付は不要)。 【記載例】 (1) 安全衛生管理組織 総括安全管理者 〇〇 〇〇 作業安全責任者 〇〇 〇〇 衛生責任者 〇〇 〇〇 交通安全責任者 〇〇 〇〇 火薬類取扱責任者 〇〇 〇〇 作業安全責任者 〇〇 〇〇 作業安全責任者 〇〇 〇〇 作業安全責任者 〇〇 〇〇 作業安全責任者 〇〇 〇〇 (2) 安全衛生に対する計画 1) 作業時の服装 2) 工事車両の安全確認 日常点検の方法 交通法規、マナー等の教育 等 3) 安全作業に向けての取り組み 健康管理に対する取り組み 新規入場者に対する教育 労働者の就業規則 KY 活動の実施 安全パトロールの実施 等 4) 保安施設の管理 保安施設の点検方法 等 <table><tr><th>活動項目</th><th>参加予定者</th><th>頻 度</th></tr><tr><td>作業前ミーティング</td><td>現場作業従業員</td><td>施工日毎</td></tr><tr><td>作業後ミティーング</td><td>現場作業従業員</td><td>施工日毎</td></tr><tr><td>本社安全パトロール</td><td>本社安全部</td><td>毎月1回 約1時間</td></tr><tr><td>安全訓練</td><td>現場作業従業員</td><td>毎月1回 約4時間</td></tr><tr><td>新規入場者の教員</td><td>新規入場者</td><td>入場時随時</td></tr></table>	活動項目	参加予定者	頻 度	作業前ミーティング	現場作業従業員	施工日毎	作業後ミティーング	現場作業従業員	施工日毎	本社安全パトロール	本社安全部	毎月1回 約1時間	安全訓練	現場作業従業員	毎月1回 約4時間	新規入場者の教員	新規入場者	入場時随時
活動項目	参加予定者	頻 度																																				
作業前ミーティング	現場作業従業員	施工日毎																																				
作業後ミティーング	現場作業従業員	施工日毎																																				
本社安全パトロール	本社安全部	毎月1回 約1時間																																				
安全訓練	現場作業従業員	毎月1回 約4時間																																				
新規入場者の教員	新規入場者	入場時随時																																				
活動項目	参加予定者	頻 度																																				
作業前ミーティング	現場作業従業員	施工日毎																																				
作業後ミティーング	現場作業従業員	施工日毎																																				
本社安全パトロール	本社安全部	毎月1回 約1時間																																				
安全訓練	現場作業従業員	毎月1回 約4時間																																				
新規入場者の教員	新規入場者	入場時随時																																				

8. 安全管理

【記載すべき内容】

・ 工事現場における作業員の労働条件、安全性の確保や労働災害防止に向けた取り組みを記載する。(安全衛生管理の組織体制、安全衛生管理に対する実施計画)

・ 労働基準監督署への届け出の有無と、許可後に工事打ち合わせ簿により報告

Point

・ 安全管理の取り組みは、受注者が実施する内容を記載する(記録様式の添付は不要)。

【記載例】

(1) 安全衛生管理組織

総括安全管理者
〇〇 〇〇

作業安全責任者
〇〇 〇〇

衛生責任者
〇〇 〇〇

交通安全責任者
〇〇 〇〇

火薬類取扱責任者
〇〇 〇〇

作業安全責任者
〇〇 〇〇

作業安全責任者
〇〇 〇〇

作業安全責任者
〇〇 〇〇

作業安全責任者
〇〇 〇〇

(2) 安全衛生に対する計画

1) 作業時の服装

2) 工事車両の安全確認

日常点検の方法

交通法規、マナー等の教育 等

3) 安全作業に向けての取り組み

健康管理に対する取り組み

新規入場者に対する教育

労働者の就業規則

KY 活動の実施

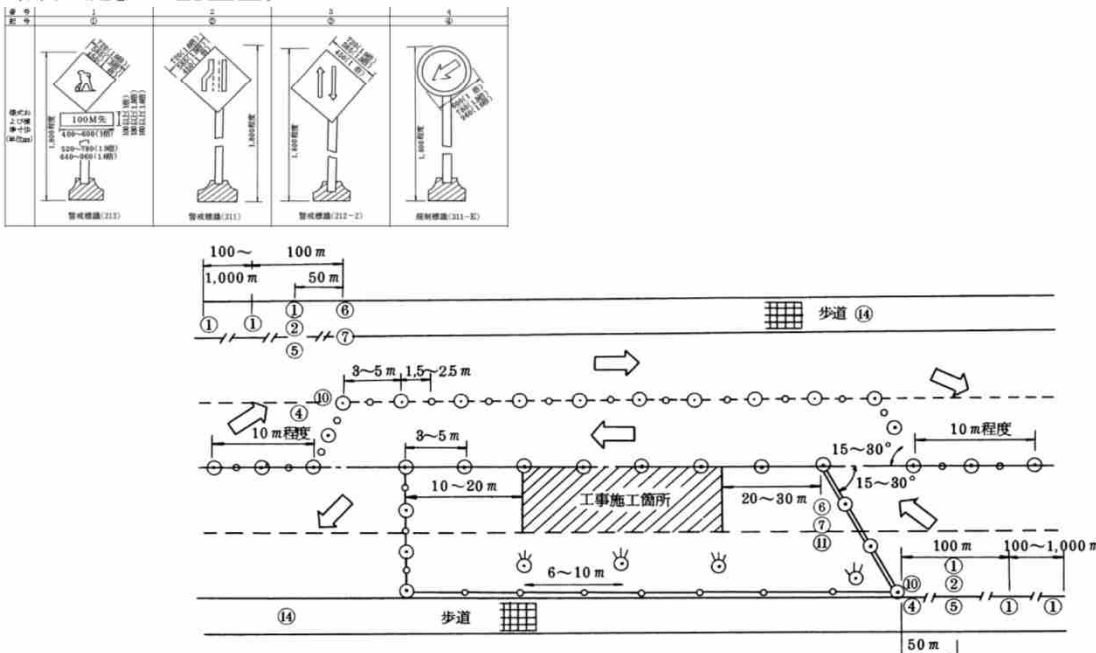
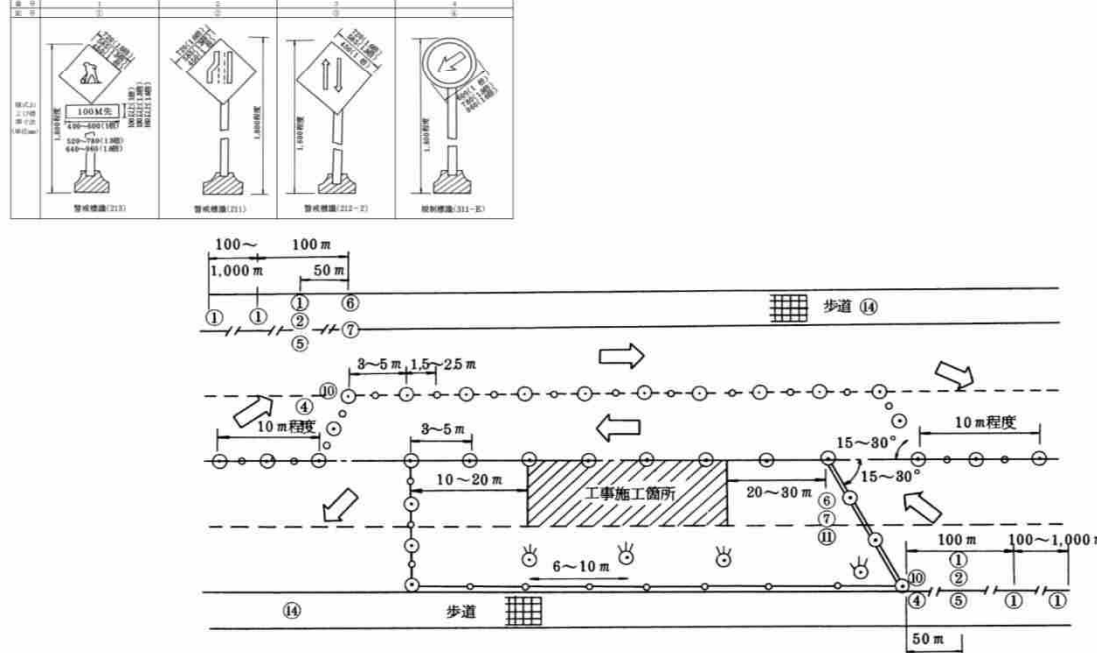
安全パトロールの実施 等

4) 保安施設の管理

保安施設の点検方法 等

活動項目	参加予定者	頻 度
作業前ミーティング	現場作業従業員	施工日毎
作業後ミティーング	現場作業従業員	施工日毎
本社安全パトロール	本社安全部	毎月1回 約1時間
安全訓練	現場作業従業員	毎月1回 約4時間
新規入場者の教員	新規入場者	入場時随時

項目	改定前【平成26年10月】	改定後【平成27年7月】
(参考資料) P.49	1 O. 緊急時の体制及び対応 【記載すべき内容】 - 緊急時の連絡体制 - 災害時の体制を確保する場合の条件とその体制 - 緊急時の取り組み Point - 緊急時の連絡体制については、現場代理人及び元請者による連絡体制を示すことを基本とし、下請等の連絡体制までは発注者として求めない。 - 災害時の体制は、どのような場合にどの体制を確保し、何を行うのかを明確にすることを求めており、緊急資材の調達先や運搬経路は、発注者として求めない。 【記載例】 1) 緊急時の連絡体制 2) 災害時の体制 気象庁の大雨洪水警報、震度 4 以上の地震発生時に下記の組織体制に入り、現場パトロールを係員により実施する。 なお、異常が確認された場合には、事故発生時の緊急連絡体制により、関係機関に連絡を行う。人命や施設災害の恐れがある場合は、災害対策部長の判断により応急措置を実施し、速やかに監督員に実施内容を報告し、対応を協議する。	9. 緊急時の体制及び対応 【記載すべき内容】 - 緊急時の連絡体制 - 災害時の体制を確保する場合の条件とその体制 - 緊急時の取り組み Point - 緊急時の連絡体制については、現場代理人及び元請者による連絡体制を記載する（下請等の連絡体制の記載は不要）。 - 災害時の体制は、どのような場合にどの体制を確保し、何を行うのかを記載する（緊急資材の調達先や運搬経路の記載は不要）。 【記載例】 1) 緊急時の連絡体制 2) 災害時の体制 気象庁の大雨洪水警報、震度 4 以上の地震発生時に下記の組織体制に入り、現場パトロールを係員により実施する。 なお、異常が確認された場合には、事故発生時の緊急連絡体制により、関係機関に連絡を行う。人命や施設災害の恐れがある場合は、災害対策部長の判断により応急措置を実施し、速やかに監督員に実施内容を報告し、対応を協議する。

項目	改定前【平成26年10月】	改定後【平成27年7月】																																																		
(参考資料) P.50	1 1. 交通管理 【記載すべき内容】 ・資材運搬時間に制限がある資材の運搬経路と時間について記載する。 ・一般車両や歩行者等に対する交通管理について記載する。 ・施工現場での工事車両に対する安全管理や輸送計画について記載する。 ・過積載防止に向けた体制や確認方法等、受注者の取り組みを記載する。 ・各種届け出の有無と、許可後に工事打ち合わせ簿により報告することを記載する。 ① 道路使用許可書、港湾工事許可書の写し ② 特殊車両許可書の写し 【添付を求める資料】 ①交通誘導員の配置図 ②保安施設の配置図 ③主要資材の運搬経路位置図 Point ・運搬時間に制限がある Con,A s 運搬経路は必須とする。 ・資材の運搬経路については、位置図による記載のみとする。 ・運搬経路位置図の添付は、運搬路線において路線的な制約や人家密集地を通過するなどの工事車両の運搬により周辺環境に影響がある場合のみとする。 【記載例】 (誘導員の配置) 〇〇警備会社 <table><tr><th></th><th>誘導員氏名</th><th>交通誘導の資格</th><th>配置期間</th><th>備 考</th></tr><tr><td>1</td><td>〇〇 〇〇</td><td>交通誘導員A</td><td>〇月～〇月</td><td>指定路線に配置</td></tr><tr><td>2</td><td>〇〇 〇〇</td><td>交通誘導員A</td><td>〇月～〇月</td><td>指定路線に配置</td></tr><tr><td>3</td><td>〇〇 〇〇</td><td>交通誘導員B</td><td>〇月～〇月</td><td>迂回路に配置</td></tr><tr><td>4</td><td>〇〇 〇〇</td><td>交通誘導員B</td><td>〇月～〇月</td><td>迂回路に配置</td></tr></table> (保安施設の配置図) 		誘導員氏名	交通誘導の資格	配置期間	備 考	1	〇〇 〇〇	交通誘導員A	〇月～〇月	指定路線に配置	2	〇〇 〇〇	交通誘導員A	〇月～〇月	指定路線に配置	3	〇〇 〇〇	交通誘導員B	〇月～〇月	迂回路に配置	4	〇〇 〇〇	交通誘導員B	〇月～〇月	迂回路に配置	1 0. 交通管理 【記載すべき内容】 ・資材運搬時間に制限がある資材の運搬経路と時間について記載する。 ・一般車両や歩行者等に対する交通管理について記載する。 ・施工現場での工事車両に対する安全管理や輸送計画について記載する。 ・過積載防止に向けた体制や確認方法等、受注者の取り組みを記載する。 ・各種届け出の有無と、許可後に工事打ち合わせ簿により報告することを記載する。 ① 道路使用許可書、港湾工事許可書の写し ② 特殊車両許可書の写し 【添付を求める資料】 ①交通誘導員の配置図 ②保安施設の配置図 ③主要資材の運搬経路位置図 Point ・運搬時間に制限がある Con,A s 運搬経路は必須とする。 ・資材の運搬経路については、位置図による記載のみとする。 ・運搬経路位置図の添付は、運搬路線において路線的な制約や人家密集地を通過するなどの工事車両の運搬により周辺環境に影響がある場合のみとする。 【記載例】 (誘導員の配置) 〇〇警備会社 <table><tr><th></th><th>誘導員氏名</th><th>交通誘導の資格</th><th>配置期間</th><th>備 考</th></tr><tr><td>1</td><td>〇〇 〇〇</td><td>交通誘導員A</td><td>〇月～〇月</td><td>指定路線に配置</td></tr><tr><td>2</td><td>〇〇 〇〇</td><td>交通誘導員A</td><td>〇月～〇月</td><td>指定路線に配置</td></tr><tr><td>3</td><td>〇〇 〇〇</td><td>交通誘導員B</td><td>〇月～〇月</td><td>迂回路に配置</td></tr><tr><td>4</td><td>〇〇 〇〇</td><td>交通誘導員B</td><td>〇月～〇月</td><td>迂回路に配置</td></tr></table> (保安施設の配置図) 		誘導員氏名	交通誘導の資格	配置期間	備 考	1	〇〇 〇〇	交通誘導員A	〇月～〇月	指定路線に配置	2	〇〇 〇〇	交通誘導員A	〇月～〇月	指定路線に配置	3	〇〇 〇〇	交通誘導員B	〇月～〇月	迂回路に配置	4	〇〇 〇〇	交通誘導員B	〇月～〇月	迂回路に配置
	誘導員氏名	交通誘導の資格	配置期間	備 考																																																
1	〇〇 〇〇	交通誘導員A	〇月～〇月	指定路線に配置																																																
2	〇〇 〇〇	交通誘導員A	〇月～〇月	指定路線に配置																																																
3	〇〇 〇〇	交通誘導員B	〇月～〇月	迂回路に配置																																																
4	〇〇 〇〇	交通誘導員B	〇月～〇月	迂回路に配置																																																
	誘導員氏名	交通誘導の資格	配置期間	備 考																																																
1	〇〇 〇〇	交通誘導員A	〇月～〇月	指定路線に配置																																																
2	〇〇 〇〇	交通誘導員A	〇月～〇月	指定路線に配置																																																
3	〇〇 〇〇	交通誘導員B	〇月～〇月	迂回路に配置																																																
4	〇〇 〇〇	交通誘導員B	〇月～〇月	迂回路に配置																																																

項目	改定前【平成26年10月】	改定後【平成27年7月】
(参考資料) P.51	1 2. 環境対策 【記載すべき内容】 ・騒音、振動、濁水、土埃等の施工時に発生する周辺環境への影響に対し、受注者としての配慮事項を記載する。 ・周辺住民に対する対応やトラブルの対応について記載する。 1 3. 現場作業環境の整備 【記載すべき内容】 ・現場事務所、作業宿舍、休憩所、作業現場及び現場周辺の美化に対する受注者としての配慮事項を記載する。 ・労働時間、土日休日作業に対する受注者の取り組み方針、配慮事項を記載する。 【添付を求める資料】 現場事務所等の配置図 Point ・現場事務所等の配置図とは、施工現場と現場事務所の位置関係、現場事務所における衛生管理や安全管理を示すものを求め、現場事務所等の施設内のレイアウトを示すものは、発注者として求めない。 【記載例】 1) 作業員の就業時間 現場で就労する作業員の就労時間 8：00～17：00とする（12:00～13:00 昼休） 日曜日は、休日とする。 2) 現場事務所等の配置図 The diagram illustrates the layout of the construction site and its surrounding facilities. On the left is the '施工現場' (Construction Site), enclosed in a dashed rectangle. To its right is '国道〇〇号' (National Route 〇〇). Further right is the '現場事務所' (Site Office). Below the office is a 'W・C' (Toilet). To the right of the toilet is a vertical box for '使用資材の保管' (Storage of Materials). Below the office and toilet is the '駐車場' (Parking Lot). To the right of the parking lot is another vertical box for '保安資材の保管' (Storage of Security Materials). A vertical line with an arrow pointing down is labeled '出入口' (Entrance/Exit). A horizontal line with an arrow pointing right is labeled '徒歩5分' (5 minutes walk). A vertical line with an arrow pointing up is labeled '施工体系図等の掲示' (Posting of construction system diagram, etc.).	1 1. 環境対策 【記載すべき内容】 ・騒音、振動、濁水、土埃等の施工時に発生する周辺環境への影響に対し、受注者としての配慮事項を記載する。 ・周辺住民に対する対応やトラブルの対応について記載する。 1 2. 現場作業環境の整備 【記載すべき内容】 ・現場事務所、作業宿舍、休憩所、作業現場及び現場周辺の美化に対する受注者としての配慮事項を記載する。 ・労働時間、土日休日作業に対する受注者の取り組み方針、配慮事項を記載する。 【添付を求める資料】 現場事務所等の配置図 Point ・現場事務所等の配置図とは、施工現場と現場事務所の位置関係、現場事務所における衛生管理や安全管理を示すものであり、現場事務所等の施設内のレイアウトを示すものは不要。 【記載例】 1) 作業員の就業時間 現場で就労する作業員の就労時間 8：00～17：00とする（12:00～13:00 昼休） 日曜日は、休日とする。 2) 現場事務所等の配置図 The diagram illustrates the layout of the construction site and its surrounding facilities. On the left is the '施工現場' (Construction Site), enclosed in a dashed rectangle. To its right is '国道〇〇号' (National Route 〇〇). Further right is the '現場事務所' (Site Office). Below the office is a 'W・C' (Toilet). To the right of the toilet is a vertical box for '使用資材の保管' (Storage of Materials). Below the office and toilet is the '駐車場' (Parking Lot). To the right of the parking lot is another vertical box for '保安資材の保管' (Storage of Security Materials). A vertical line with an arrow pointing down is labeled '出入口' (Entrance/Exit). A horizontal line with an arrow pointing right is labeled '徒歩5分' (5 minutes walk). A vertical line with an arrow pointing up is labeled '施工体系図等の掲示' (Posting of construction system diagram, etc.).

項目	改定前【平成26年10月】	改定後【平成27年7月】
(参考資料) P.52	1 4. 再生資源の利用計画、建設副産物の適正処理方法 【記載すべき内容】 - 建設副産物の適正処理について、法的な手続きの履行、処分量の確認方法等の受注者の取り組みを記載する。 建設副産物収集運搬処理の委託 最終処分における適正処分量の確認 - 再生資源の有効活用に向けた取り組みについて記載する。 【添付を求める資料】 ① 再生資源利用計画書（実施書） ② 再生資源利用促進計画書（実施書）	<u>1 3.</u> 再生資源の利用計画、建設副産物の適正処理方法 【記載すべき内容】 - 建設副産物の適正処理について、法的な手続きの履行、処分量の確認方法等の受注者の取り組みを記載する。 建設副産物収集運搬処理の委託 最終処分における適正処分量の確認 - 再生資源の有効活用に向けた取り組みについて記載する。 【添付を求める資料】 ① 再生資源利用計画書（実施書） ② 再生資源利用促進計画書（実施書）

[illegible]

項目	改定前【平成26年10月】	改定後【平成27年7月】
(参考資料) P.57	JIS 認証（認証）がある場合のセメントコンクリート二次製品の提出例 Point 【セメントコンクリート二次製品の取扱要領】 ・セメントコンクリート二次製品の取扱要領にもとづいて内容確認を行う。 【提示資料の例】 1 / 3 宛名は受注者名とする。 殿 御 承 認 願 平成 年 月 日 全国ヒューム管協会近畿支部 製造会社が分からなければならない。	JIS 認証（認証）がある場合のセメントコンクリート二次製品の提出例 Point 【セメントコンクリート二次製品の取扱要領】 ・セメントコンクリート二次製品の取扱要領にもとづいて内容確認を行う。 【提示資料の例】 1 / 3 宛名は受注者名とする。 殿 御 承 認 願 平成 年 月 日 平成〇〇年〇〇月〇〇日 現場代理人 〇〇 〇〇 印 ※ 現場代理人が内容確認後、署名・捺印する。 全国ヒューム管協会近畿支部 製造会社が分からなければならない。

項目	改定前【平成26年10月】	改定後【平成27年7月】
(参考資料) P.59	事前審査認証がある場合の提出例 Point 【アスファルト混合物事前審査制度・アスファルト合材配合統一用紙】 ・「事前審査認証書＋混合物総括表」以外は求めない。 ・工場名と有効期間内の認証製品であり、契約図書に定める資材であることことが、発注者として求める事項である。 ・製造者が承諾願作成時には、宛先は工事受注者名、工事名は契約した工事名を記載することが望ましい。 【提示資料の例】 1/3 アスファルト混合物認定書 (認定期間：平成 年 月～平成 年 月) 工事名 施工場所 混合物の種類 再生粗粒度アスコン 再生密粒度アスコン 再生細粒度アスコン ポラスアスファルト改質H型 歩道用透水性アスコン 平成 年 月 施工者名 工場名 製造工場名が分かなければならない。 試験者名	事前審査認証がある場合の提出例 Point 【アスファルト混合物事前審査制度・アスファルト合材配合統一用紙】 ・「事前審査認証書＋混合物総括表」以外は求めない。 ・工場名と有効期間内の認証製品であり、契約図書に定める資材であることが、発注者として求める事項である。 ・製造者が承諾願作成時には、宛先は工事受注者名、工事名は契約した工事名を記載することが望ましい。 【提示資料の例】 1/3 アスファルト混合物認定書 (認定期間：平成 年 月～平成 年 月) 工事名 施工場所 混合物の種類 再生粗粒度アスコン 再生密粒度アスコン 再生細粒度アスコン ポラスアスファルト改質H型 歩道用透水性アスコン 平成 年 月 施工者名 工場名 製造工場名が分かなければならない。 試験者名

項目	改定前【平成26年10月】	改定後【平成27年7月】
(参考資料) P.62	JIS 認証（認定）のない場合の提出例 Point 「形状、寸法がわかる資料＋JIS と同等であることの証明」以外は求めない。 - 二次製品の場合は、請負者事前確認チェックリストにより、JIS 同等製品とする。 - 製造者の承諾願作成時には、宛先は工事受注者名、工事名は契約した工事名を記載することが望ましい。 【提示資料の例】 1/3 承諾願 平成 年 月 日 宛名は、P.21 と同様に記載する。様 <請負者> ☐ 住 所 ☐ 会 社 名 ☐ 工 事 名 上記工事用の材料として、下記製造会社の製品を使用したいので 資料を添えてお届けいたします。ご承諾下さい。 記 製造会社が分からなければならない。	JIS 認証（認定）のない場合の提出例 Point 「形状、寸法がわかる資料＋JIS と同等であることの証明」以外は求めない。 - 二次製品の場合は、請負者事前確認チェックリストにより、JIS 同等製品とする。 - 製造者の承諾願作成時には、宛先は工事受注者名、工事名は契約した工事名を記載することが望ましい。 【提示資料の例】 1/3 承諾願 平成 年 月 日 宛名は、<u>P. 57</u> と同様に記載する様 <請負者> ☐ 住 所 ☐ 会 社 名 ☐ 工 事 名 上記工事用の材料として、下記製造会社の製品を使用したいので 資料を添えてお届けいたします。ご承諾下さい。 記 製造会社が分からなければならない。